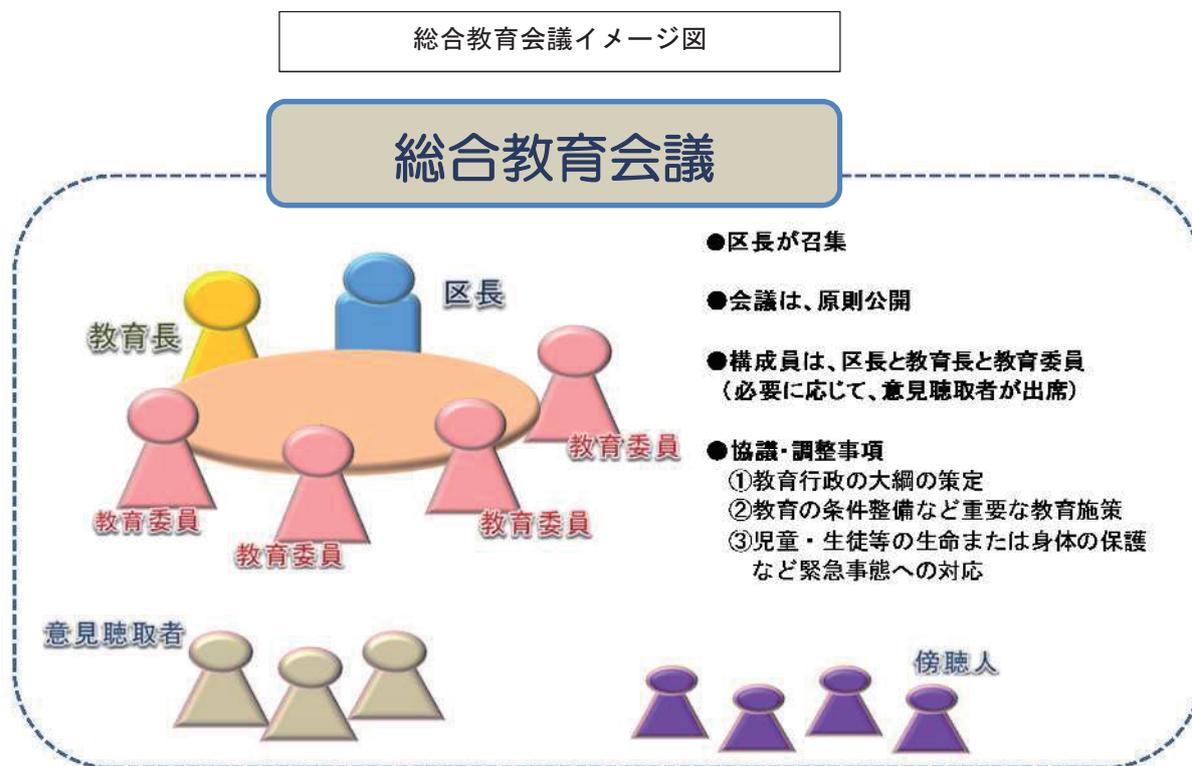


④ 教育

～多様化する教育課題への対応と教育行政の充実～

- ・ 平成 27 年度から教育委員会制度が変わり、区長が招集する「総合教育会議」が設置されることとなります。
- ・ 区立小学校の児童数は約 3 万 3 千人前後、区立中学校の生徒数は約 1 万 4 千人前後で、ほぼ横ばいとなっています。
- ・ 全国学力・学習状況調査結果の平均正答率は、区立小学校・中学校とも、東京都・全国の平均を上回っています。
- ・ 練馬区では小中一貫教育の研究や実践を進めています。
- ・ 不登校の小学校児童はやや増加、中学校生徒は微減傾向にあります。

新しく設置される総合教育会議等を通して、練馬区の教育をさらに充実していく必要があります。また、子どもたちを取り巻く様々な問題に対応しながら、学力の向上など、教育の質を高める取組が求められています。



[出典] 練馬区教育振興部資料

児童数の推移（区立小学校）

（各年5月1日現在）



[出典] 練馬区教育振興部資料

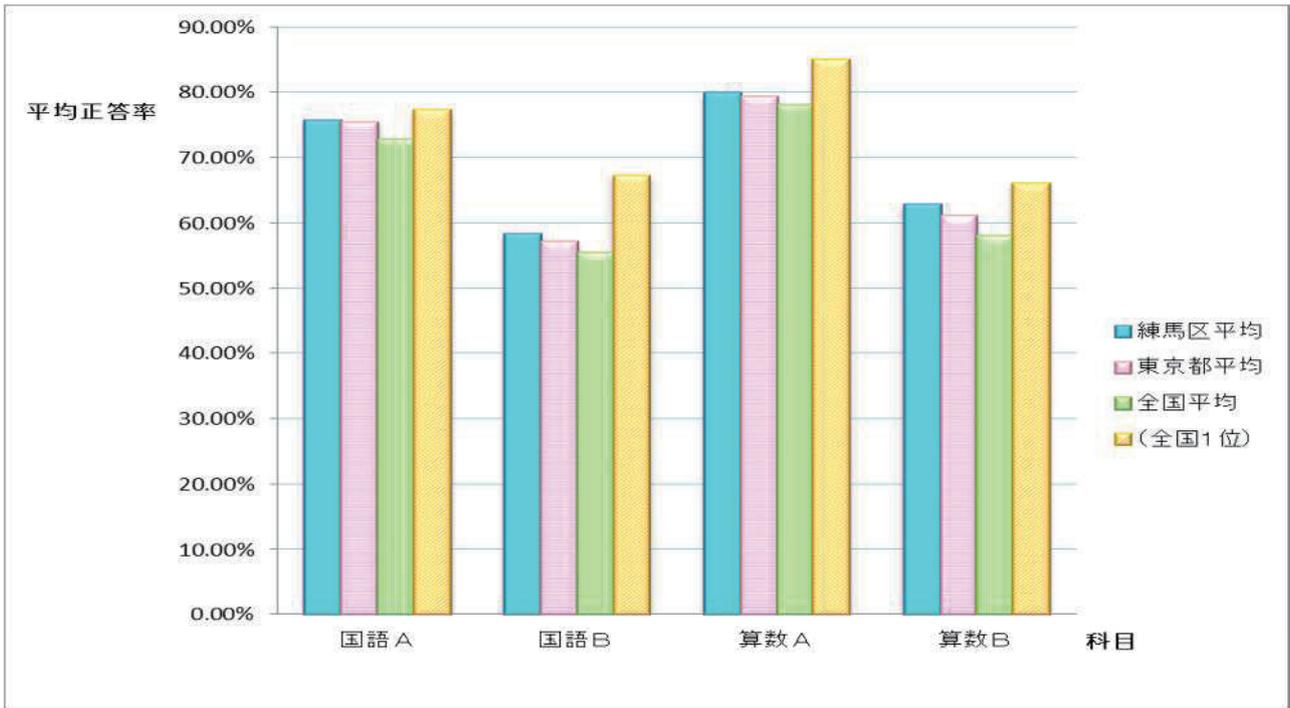
生徒数の推移（区立中学校）

（各年5月1日現在）



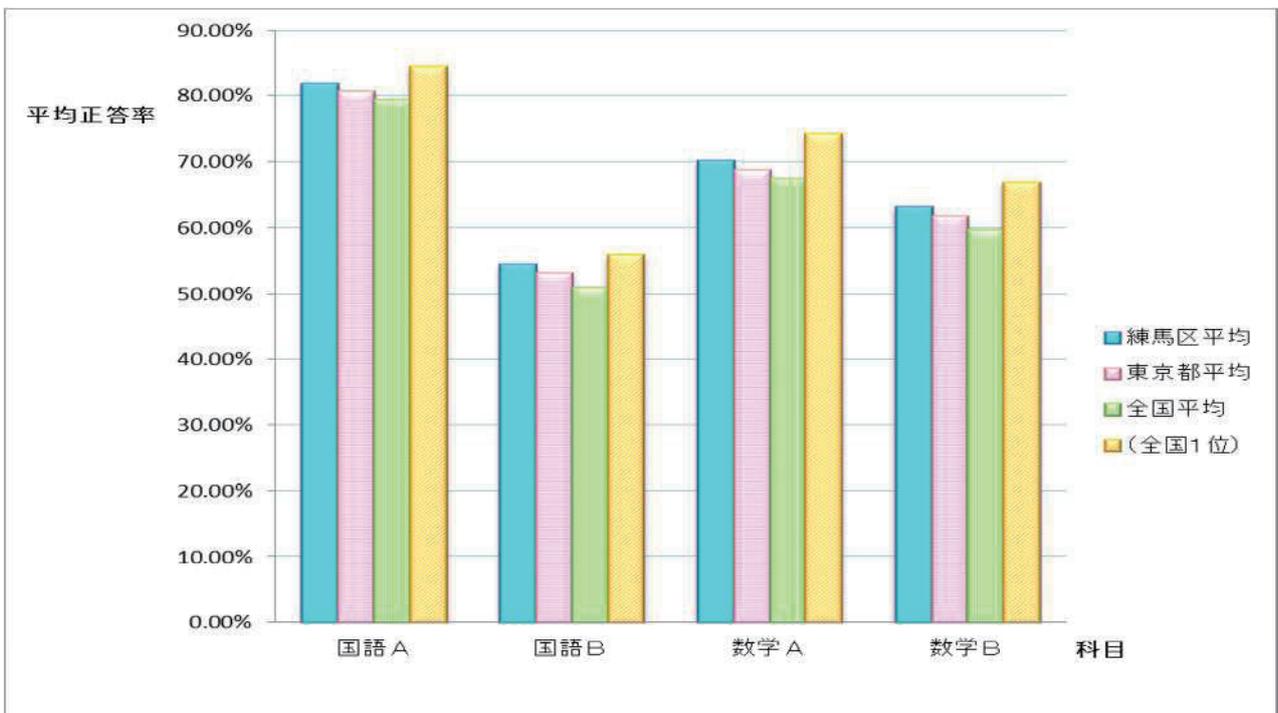
[出典] 練馬区教育振興部資料

平成 26 年度全国学力・学習状況調査結果（平均正答率）（区立小学校）



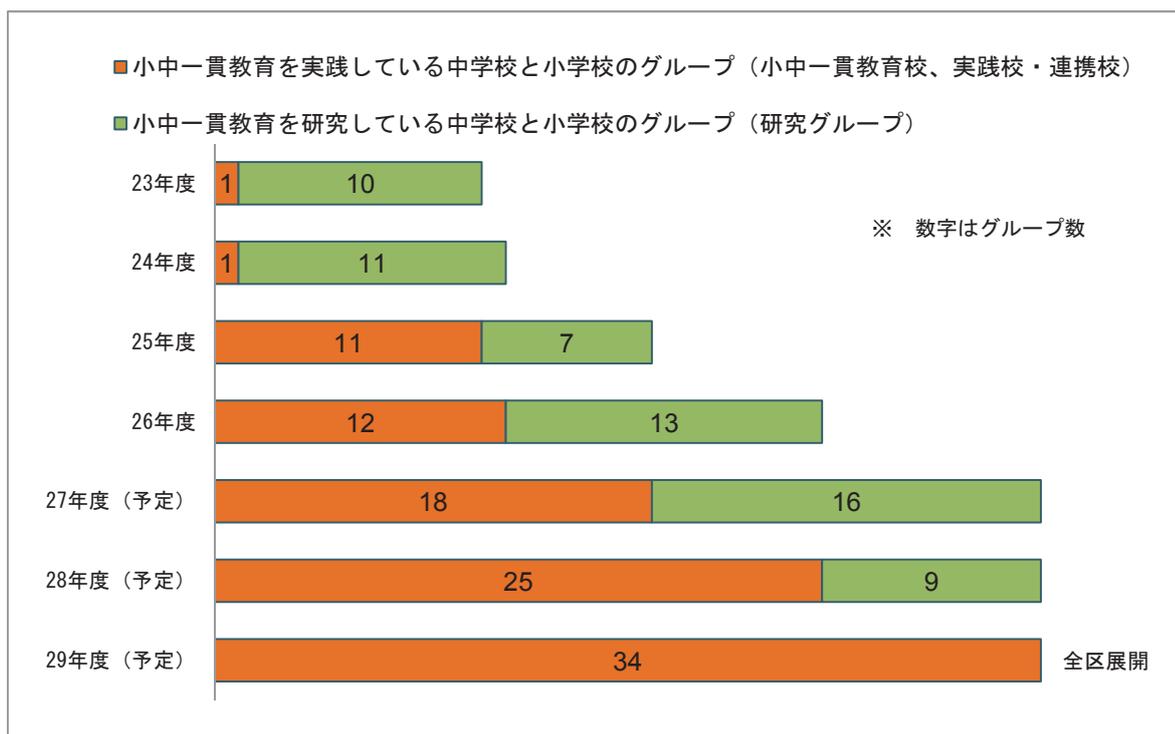
[出典] 練馬区教育振興部資料

平成 26 年度全国学力・学習状況調査結果（平均正答率）（区立中学校）



[出典] 練馬区教育振興部資料

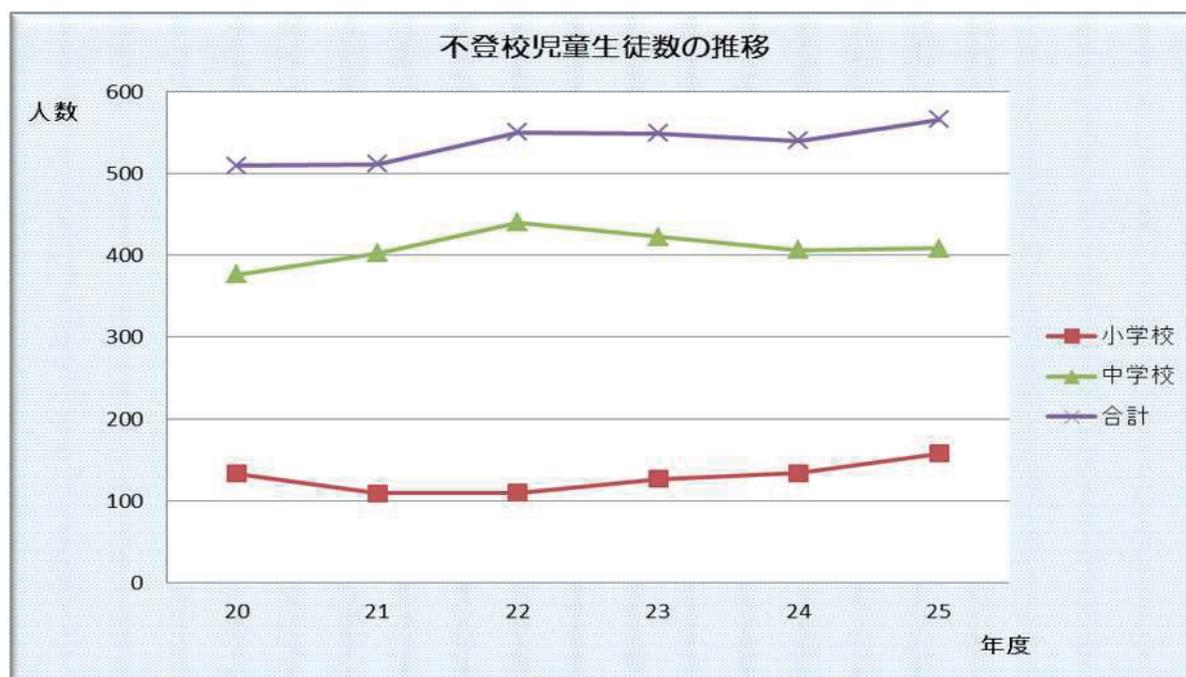
小中一貫教育の推進状況



[出典] 練馬区教育振興部資料

※ 練馬区では、中学校1校と近隣の小学校1～3校でグループを作って、小中一貫教育を進めています。研究グループは2年間の研究を経て実践校に移行します。距離が離れていて直接的な交流が困難な小学校では、連携校として、実践校の取組を参考にしながら取り組む場合もあります。

不登校の状況



[出典] 練馬区教育振興部資料